

第3章

健康政策課

健康政策課は、企画調整庶務担当、健康づくり担当、保健栄養担当及び予防接種担当で組織され、企画調整庶務担当は、保健所協議会の開催、保健所の公有財産管理、各種統計調査等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発を行った。保健栄養担当は、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

1 広報活動・健康教育

(1) 広報活動

ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況（表 1 - 1）

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 （特集号記事含む）	41件	健康政策課20件、生活衛生課 9件、保健対策課 12件
タウン誌	1件	健康政策課 1 件
看板の掲示	3件	健康政策課 2 件、保健対策課 1 件
シティビジョン	1件	保健対策課 1件
医師会報	12件	・

イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

- ・ホームページアドレス

（PC版）http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryoo/hachi_hokenjyo/index.html

（モバイル版）<http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>

(2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。

保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材などを利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表 1 - 2）

区 分	総 数		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
25 年 度 総 数	104件	5,981名	35件	658名	69件	5,323名
26 年 度 総 数	122件	7,945名	35件	962名	87件	6,983名
感 染 症	30	1,957	3	270	27	1,687
(再掲) エイズ	6	690	—	—	6	690
精 神	12	2,151	—	—	12	2,151
難 病	4	66	—	—	4	66
ア レ ル ギ ー	—	—	—	—	—	—
成 人 ・ 老 人	—	—	—	—	—	—
栄 養 ・ 健 康 教 育	8	445	1	2	7	443
歯 科	—	—	—	—	—	—
医 事 ・ 薬 事	7	486	—	—	7	486
食 品	54	2,159	30	663	24	1,496
環 境	7	681	1	27	6	654
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(3) DVD等の活用

当所所有のDVD等は、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等への貸出も行うことで、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況（表 1 - 3）

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
数	10	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	29	—	—	42

(4) AED（自動体外式除細動器）練習機の貸し出し

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸し出しを行い、AEDの活用方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況（表 1 - 4）

貸出先	学校	町会自治会	他団体	庁内	合 計
回 数	11	2	3	2	18

2 研修・教育

実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師、管理栄養士、学生に対して下表のような指導を実施した。また、保健所事業以外の業務についても保健福祉センター等の見学を依頼し、対人保健サービスに関する理解を深めた。

平成26年度実習生等指導状況（表2-1）

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部 看護学科	5月19日～7月25日	24名 (延べ120名)	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核 検診等
管理栄養士 学生	実践女子大学生生活 科学部食生活科学 科管理栄養士専攻	5月7日～10月1日	12名 (延べ72名)	講義：保健所各課及び保健栄養業 務について 見学：乳児健診、特定給食施設指 導等

3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

表3-1

区分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書 公開請求	240	160	99	101	3
行政照会	84	63	11	10	—

* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

(1) 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

(2) 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成26年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況（表 4 - 1）

調 査 名	目 的	期 日	対 象
国民生活基礎調査	国民の保健・医療・福祉・年金等、国民生活の基礎的事項を調査して、厚生労働行政の企画及び立案の基礎資料とするとともに各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定する。	6月5日	5 地区 639 世帯
医療施設静態調査	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月1日	病院 40施設 一般診療所 376施設 歯科診療所 283施設
患 者 調 査	病院及び診療所を利用する患者について、傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	(入院・外来) 10月21日～24日 のうち指定する 1日 (退院) 9月1日～30日	病院 20施設 一般診療所 4施設 歯科診療所 1施設
受 療 行 動 調 査	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、「患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月21日～23日 の間の指定日	病院 2施設

(3) その他の統計・調査

地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を都を経由して厚生労働省へ報告した。

5 健康づくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

(1) 健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

ア 第11回市民健康の日「2014健康フェスタ」(平成26年5月18日開催)

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、メイン会場では健康づくりを楽しみながら体験できるイベント「2014健康フェスタ」を開催した。

健康フェスタ全体会及び実行委員会（表 5 - 1）

項目	回数	延べ人数	回	開催日	内容等
健康フェスタ全体会	3	75	第1回	1月17日	開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会団体より「レクリエーション部門」「保健・医療部門」「会場部門」の3部門より構成された健康フェスタ実行委員会を設置し開催に向け検討を進めた。
			第2回	4月30日	
			第3回	6月20日	
健康フェスタ実行委員会	3	49	第1回	2月28日	
			第2回	3月17日	
			第3回	4月18日	

健康フェスタ開催（表5-2）

年度	会場	参加団体	来場者
25	富士森公園陸上競技場・市民体育館	49 団体	7,852 名
26	富士森公園陸上競技場・市民体育館	45 団体	9,222 名

イ 「健康づくり活動発表会」健康づくりSHOW（平成27年3月1日開催）

今年度は、女性の健康週間に合わせ、健康講演会を開催し、市民の皆さんに自分らしく健康的に暮らしていけるよう、ライフステージに合わせた悩みの改善などに向けた講演会を行った。

健康づくりSHOW実施状況（表5-3）

年度	内容	会場	参加団体	来場者
25	食べて健康・笑って健康 講師：NPO 法人 笑み筋体操ハッピーネット 晏在雅子先生 「学童農園」「八王子ラーメンによる町おこし」 の活動発表	学園都市センター	10 団体	95 名
26	サルコペニアとロコモ予防で健脚美人～ 講師：NPO 法人 HAP 理事長 宮原富士子先生	学園都市センター	10 団体	134 名

（2）健康増進に関する正しい情報の提供に向けての活動

ア 第36回八王子いちよう祭りへの参加（平成26年11月15・16日開催）

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行った。

いちよう祭り参加状況（表5-4）

年度	参加団体	来場者
25	11 団体	5,013 名
26	10 団体	5,031 名

6 保健栄養

健康増進法に基づき、専門的な知識や技術を必要とする対象者への栄養指導や、特定給食施設には適切な栄養管理が行えるよう必要な指導・助言やスキルアップ・情報提供等を目的とした講習会を開催した。

また、八王子市食育推進計画をふまえ、市民一人ひとりが食に関する理解や関心を深め、適切な食の選択による望ましい食生活を実践することを目指し、すべてのライフステージにおいて健康維持増進と生活習慣病予防のための取組等を行った。

（1）専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況（表6-1）

年 度	区 分		総数	再掲				
				生活習慣病	難 病	その他疾病	精神	訪問指導
25	総 数		83	47	1	35	1	—
26	総 数		54	36	5	12	—	—
	内 訳	妊 産 婦	—	—	—	—	/	—
		乳 幼 児	—	—	—	—		—
		20歳未満	—	—	—	—		—
		20歳以上	54	36	5	12		—

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況（表6-2）

年 度	区 分		総数	再掲			
				生活習慣病	難 病	その他疾病	精 神
25	総 数		134	134	—	—	45
26	総 数		537	443	—	—	28
	内 訳	妊 産 婦	—	—	—	—	/
		乳 幼 児	—	—	—	—	
		20歳未満	—	—	—	—	
		20歳以上	537	443	—	—	

（2） 特定給食施設指導

健康増進法に基づく特定給食施設（児童福祉施設、病院、社会福祉施設、事業所等）に対して、施設特性に応じた栄養効果の十分な給食が実施され、喫食者の健康増進が図られるよう、個別指導（来所、電話、巡回）及び集団指導として栄養管理講習会を年間6回行った。

給食施設数（表6-3）

年 度	総 数	学 校	病 院	介護老人保健施設	老人福祉施設	児童福祉施設	社会福祉施設	矯正施設	寄宿舎	事業所	給食センター	そ の 他
25	380	114	39	7	41	96	12	1	14	28	—	28
26	385	118	39	7	56	98	12	1	14	27	—	13

給食施設指導状況（表6-4）

年 度	種 別	区 分	総 数	特定給食施設		その他の給食施設
				1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回100食未満又は1日250食未満
25	総 数	個別指導延べ施設数	468	218	141	109
		(再掲)巡回指導	7	4	—	3
		集団指導 開設回数 延べ施設数	6 369	・ 195	・ 55	・ 119
26	総 数	個別指導延べ施設数	474	255	94	125
		(再掲)巡回指導	19	7	6	6
		集団指導 開設回数 延べ施設数	6 420	・ 248	・ 42	・ 130

栄養管理講習会実施状況（表6-5）

開催日	対象施設	テ ー マ	講 師 名	参 加 施設数	参 加 人 数
平成 26 年 5 月 1 日	給食施設	①食品衛生情報 ②栄養管理・情報提供	①保健所食品衛生監視員 ②保健所栄養士	23	23
5 月 8 日	病院・介護 施設	①食品衛生情報 ②栄養管理・情報提供	①保健所食品衛生監視員 ②保健所栄養士	66	74
5 月 12 日	保育所・幼 稚園	①食品衛生情報 ②栄養管理・情報提供	①保健所食品衛生監視員 ②保健所栄養士	85	91
9 月 9 日	経験 5 年未 満の管理栄養 士・栄養士	①給食施設に係る届出、栄養管理 方法（講義） ②給食施設における栄養管理の 課題について（グループワーク）	保健所栄養士	46	47
11 月 13 日	全施設	日本人の食事摂取基準（2015 年版）の改定ポイントと活用	「日本人の食事摂取基準 （2015 年版）」策定検討会 ワーキンググループ委員 女子栄養大学教授 上西 一弘 氏	131	147
平成 27 年 3 月 4 日	全施設	災害時にもあわてない！栄養士 スキルアップ研修 ①事例報告（2施設） ②講演「栄養士として災害時に役 立つための知識を身につける」	①福寿園 大久保栄養士 永生病院 佐藤栄養士 ②東京高輪病院 元栄養管理室長 足立香代子 氏	91	102

(3) 人材育成

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のための人材育成として、各団体への研修会、連絡会等を支援・開催した。また管理栄養士養成施設学生の公衆栄養学実習の受け入れを行った。

人材育成状況（表6-6）

項目	実施回数	延べ人員	内容等
地域活動栄養士会	12回	116人	各世代に対する栄養指導、情報提供等の実施
八王子管理栄養士の会	12回	46人	生活習慣病予防に関する料理講習会、情報提供等の実施
管理栄養士実習生指導	3回	72人	実践女子大学3年次生：1期4人、2期4人、3期4人 オリエンテーション：5月7日（保健師実習生との合同） 5月8日～5月14日（1期）、6月6日～6月13日（2期）、9月24日～10月1日（3期）

(4) 栄養表示食品基準等普及促進事業

飲食店や食品業者に対して随時、栄養成分表示等について普及・指導を行った。また、栄養表示基準制度及び特別用途食品表示許可制度に基づく食品についての収去検査を実施した。

栄養表示・飲食店指導（表6-7）

年度	区分	業者指導（件数）		
		飲食店等	食品関係業者等	(再掲) 栄養表示基準
25	個別指導延べ施設数	166	—	6
	(再掲)巡回指導	42	—	—
	集団指導 開設回数 延べ施設数	7 661	— —	— —
26	個別指導延べ施設数	185	10	10
	(再掲)巡回指導	49	—	—
	集団指導 開設回数 延べ施設数	13 798	— —	— —

収去検査（表6-8）

年度	検査種類	検体数	良	不良	備考
25	栄養成分表示	3	3	—	
	栄養機能食品	2	2	—	
26	栄養成分表示	3	3	—	
	栄養機能食品	2	2	—	

(5) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施した。

国民健康・栄養調査実施状況（表6-9）

基準日	調査地区	調査協力世帯数	調査協力人数	身体状況調査日
11月4日	1地区	16世帯	47人	11月11日

(6) 食育推進事業

八王子市食育推進計画（平成23年3月策定）の推進を図るため、八王子市食育協議会を開催し、事業の取組みとして食育フェスタの実施、食育サポーター活動支援、はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）運営を行った。

なお、ヘルシーメニュー推進事業として、はちおうじヘルシーメニュー登録店事業の実施と「しっかり食べよう！野菜350」をテーマとした野菜普及キャンペーンを行い、普及啓発に努めた。

食育推進事業実施状況

ア 食育フェスタ

食育を市民へ広く周知する取組みの一つとして「人と食をむすぶ」をキャッチフレーズとして、はちおうじ食育フェスタ2014を開催した（実行委員会委託事業）。

食育フェスタ実行委員会（表6-10）

項目	回数	延べ人員	回	開催日	内容等
食育フェスタ 実行委員会	5	105	第1回	5月14日	役員選出、食育フェスタ2014の概要
			第2回	7月15日	全体催し物、会場の配置等
			第3回	9月11日	出展内容の確認、ブースの配置決定等
			第4回	10月21日	当日の運営等
			第5回	12月18日	実施報告、決算報告

食育フェスタ開催（表6-11）

開催日	会場	参加団体	来場者
11月8日	富士森公園陸上競技場	21団体	約4,000名

イ 食育サポーター事業

地域・市民に対してより広く食育を広めるため食育サポーターを養成し、食育フェスタ等の食に関わるイベントや地域の食育活動での支援に取り組んだ。

食育サポーター食育活動支援内容（表6-12）

サポーター	認定人数	活動回数	延べ活動人数	活動内容
学生	15	23	78	2014健康フェスタ、市民食育講座、野菜普及キャンペーン、夏休み親子料理教室、公衆浴場利用による健康教室、食育フェスタ2014、ダイケア、消費者フェスティバル出展
一般	26			

ウ ヘルシーメニュー推進事業

市民の健康維持・増進及び生活習慣病予防の観点から、市内の外食産業（飲食店、給食施設、スーパー等）に対し、野菜が多くカロリーにも配慮したヘルシーメニューを提供できる店舗の登録店制度を行い、食環境整備を図っている。また、野菜摂取を普及するためのキャンペーンを実施した。

ヘルシーメニュー登録店（表 6-13）

登録期間	登録店舗	ガイドマップ配布数
平成26年9月1日～平成27年8月31日	60	計15,000部 (6月-5,000部、9月-10,000部発行)

ヘルシーメニュー登録店キャンペーン（表 6-14）

キャンペーン実施月	参加店舗	クーポン券ちらし配布数
平成26年6月（食育月間）	29	5,000枚
平成26年9月（健康増進普及月間）	31	6,000枚

野菜普及キャンペーン（表 6-15）

開催日	時間	会場	内容	参加人数
6月12日	11時～13時	JR 八王子駅びゅうプラザ前	野菜クイズ、野菜の実測体験、野菜関連媒体配布 等	750名
9月3日～4日	10時～12時			1,101名

エ 市民食育講座

6月の食育月間にあわせ、市民の食育への関心や理解を深めるための講演会を実施した。

市民食育講座実施状況（表 6-16）

開催日	内容	参加人数
6月7日	アスリートからスポーツを楽しむ方まで 「スポーツ選手に学ぶ健康のための食事」 講師：Nutrition Consulting WATSONIA 川端 理香 氏	134名

オ はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）

平成24年4月に開設した食育の専用ホームページにより、市内の食育情報の発信を行った。

URL: <http://www.hachioji-shokuiku.com/>

カ その他（依頼事業）

福祉政策課からの依頼で高齢者対象の公衆浴場で健康教室を食育サポーターとともに実施した。

健康教室（表 6-17）

実施日	場所	内容	来場者人数
9月16日 17日 18日	松の湯（小門町） 福の湯（本町） 稲荷湯（子安町）	①講話「しっかり食べよう！野菜350」 ②体組成測定・栄養相談	28名

7 予防接種

感染症の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種を実施した。

定期（A類疾病）予防接種実施状況（表7-1）

種 別			対象者数	実施者数	
				接種完了者	予診のみの者
ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄炎 (四種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	3,776人	3,716人	41人
		第2回	3,776人	3,772人	56人
		第3回	3,776人	3,749人	61人
	第Ⅰ期追加		4,231人	3,693人	75人
ジフテリア 百日せき 破傷風 (三種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	150人	10人	—
		第2回	150人	18人	—
		第3回	150人	14人	—
	第Ⅰ期追加		600人	686人	3人
急性灰白髄炎 (ポリオ)	初回 第Ⅰ期	第1回	300人	74人	1人
		第2回	300人	200人	—
		第3回	300人	269人	4人
	第Ⅰ期追加		2,000人	1,666人	17人
ジフテリア 破傷風		第Ⅱ期	4,896人	3,708人	20人
麻しん風しん		第Ⅰ期	4,205人	3,844人	100人
		第Ⅱ期	4,695人	4,286人	32人
日本脳炎	初回 第Ⅰ期	第1回	4,330人	4,913人	50人
		第2回	4,330人	4,660人	58人
	第Ⅰ期追加		4,561人	4,913人	40人
	第Ⅱ期		4,727人	1,910人	20人
結核（BCG）			3,776人	3,620人	34人
麻しん第Ⅰ期（再掲）			・	1人	・
ヒブワクチン	初回	第1回	3,776人	3,828人	35人
		第2回	3,776人	3,648人	11人
		第3回	3,776人	3,642人	9人
	追加		4,205人	3,980人	44人
小児用肺炎球菌ワクチン	初回	第1回	3,776人	3,850人	12人
		第2回	3,776人	3,709人	13人
		第3回	3,776人	3,661人	14人
	追加		4,205人	3,789人	19人
水痘（みずぼうそう）	第1回		4,205人	5,270人	84人
	第2回		4,290人	2,289人	36人
子宮頸がん予防ワクチン	第1回		2,536人	9人	—
	第2回		2,536人	12人	—
	第3回		2,536人	12人	1人

* 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止

高齢者インフルエンザ（B類疾病）予防接種（表7-2）

実施期間	平成26年10月14日～平成27年1月31日
対象者	65歳以上の方
	60～65歳未満で心臓等内部疾患に1級程度の障害のある方
対象者数	135,142人
接種者数	51,807人
接種率	38.3%
自己負担額	2,200円（生活保護受給者等は無料）

* 町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を実施（相互乗り入れ）

高齢者肺炎球菌予防接種（表7-3）

区分	定期接種（B類疾病）	任意接種
実施期間	平成26年10月1日 ～平成27年3月31日	平成26年7月1日 ～平成27年3月31日
対象者	65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・ 90歳・95歳・100歳以上の方 60歳～65歳未満で心臓等内部疾患に 1級程度の障害がある方	65歳以上で定期接種対象以外の方
自己負担額	4,000円（生活保護受給者等は無料）	
接種者数	12,313人	8,097人
計	20,410人	

麻しん風しん特別予防接種（表7-4）

実施期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
対象者	2歳以上19歳未満で麻しん風しん混合第1期・第2期・第3期の定期接種を受けられなかった方
接種者数	299人
自己負担額	なし

* 市の制度により実施

先天性風しん症候群対策の風しん予防接種実施状況（表7-5）

実施期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日	
対象者	19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性で風しんの抗体検査結果より、十分な免疫がないと判断された方	
接種者数	麻しん風しん混合	309人
	風しん	6人
	合計	315人
自己負担額	なし	

* 市の制度により実施

8 医療安全支援センター

平成24年9月に医療安全支援センターを保健所内に開設し、市民が抱える医療への不安や苦情、相談等に対応するとともに、医療機関や市民に対して、医療安全に関する助言や情報提供を行った。

平成27年1月26日、八王子市医療連携推進懇談会に当センターの運営状況について報告した。

医療安全相談窓口

相談件数（表8-1）

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	752	66	56	59	64	65	51	56	55	56	62	78	84
26年度	908	73	64	82	70	65	84	77	71	68	88	70	96

相談者（表8-2）

	本人	家族・親戚	友人・知人	その他	不明
25年度	498	217	9	7	21
26年度	636	239	7	16	10
割合(%)	70.0	26.3	0.8	1.8	1.1

内容（表8-3）

	相談	苦情
25年度	612	140
26年度	681	227
割合(%)	75.0	25.0

処理経過（表8-4）

	相談者へ助言・説明	医療機関案内	専門・関係機関案内	医療機関へ連絡	他部署案内	その他
25年度	400	227	75	15	35	—
26年度	560	187	123	6	25	7

